



2026年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月15日

上場会社名 株式会社大庄 上場取引所 東
コード番号 9979 URL <https://www.daisyo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 了壽
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 野間 信護 (TEL) 03-5764-2229
定時株主総会開催予定日 2026年11月25日 配当支払開始予定日 2026年11月26日
有価証券報告書提出予定日 2026年11月20日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (金融機関、機関投資家、アナリスト、マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期の連結業績(2025年9月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	53,088	1.0	915	△23.5	914	△23.6	394	△66.4
2025年8月期	52,556	3.9	1,196	19.6	1,196	3.3	1,172	△12.1

(注) 包括利益 2026年8月期 399百万円(△66.1%) 2025年8月期 1,178百万円(0.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年8月期	18.78	—	3.5	3.2	1.7
2025年8月期	55.88	—	10.8	3.8	2.3

(参考) 持分法投資損益 2026年8月期 — 百万円 2025年8月期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	27,984	11,392	40.7	542.76
2025年8月期	29,523	11,286	38.2	537.83

(参考) 自己資本 2026年8月期 11,389百万円 2025年8月期 11,286百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年8月期	1,725	△1,675	△1,227	4,818
2025年8月期	2,148	295	△5,468	5,974

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年8月期	—	6.00	—	8.00	14.00	293	25.1	2.7
2026年8月期	—	6.00	—	8.00	14.00	293	74.5	2.6
2027年8月期(予想)	—	6.00	—	8.00	14.00		50.7	

3. 2027年8月期の連結業績予想（2026年9月1日～2027年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,120	1.9	540	20.9	477	1.8	324	△11.8	15.44
通 期	54,360	2.4	1,050	14.7	930	1.7	580	47.2	27.64

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年8月期	21,198,962株	2025年8月期	21,198,962株
2026年8月期	213,888株	2025年8月期	213,888株
2026年8月期	20,985,074株	2025年8月期	20,985,081株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年8月期の個別業績(2025年9月1日～2026年8月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期	42,602	1.2	385	△38.1	549	△11.3	240	△70.1
2025年8月期	42,110	3.3	622	△10.7	620	△73.6	803	△69.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期	11.45	—
2025年8月期	38.31	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期	25,242	10,461	41.4	498.50
2025年8月期	26,328	10,511	39.9	500.90

(参考) 自己資本 2026年8月期 10,461百万円 2025年8月期 10,511百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページの「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の継続等により、景気は緩やかな回復が続いております。一方で、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりや、金融資本市場の変動などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、インバウンド消費の継続等により需要は堅調に推移しているものの、原材料価格や人件費、エネルギー価格などの運営コストの高止まりや、物価上昇の継続と実質賃金の伸び悩みによる節約志向の高まりに加え、相次ぐ自然災害による影響などにより、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において、当社グループは、「人類の健康と心の豊かさに奉仕する」という企業理念のもと、「日本の食文化と居酒屋文化の発展に貢献する」という基本方針にこだわり事業運営を行ってまいりました。また、売上高と営業利益率の向上を目指し、企業価値向上を図るため、主要業態「庄や」のリニューアルや強化業態への業態変更を含む店舗改装の推進、デジタルマーケティングやウェブ予約獲得の拡充による集客力強化、卸売・ロジスティクス事業の外部販売先拡大、不動産事業及びF C・V C事業等の収益確保、D X(デジタル・トランスフォーメーション)取組み推進による生産性向上、労働環境の改善や研修の充実による人材確保・育成などの施策に取り組んでおります。

店舗展開におきましては、新規出店を5店舗、店舗改装を13店舗、店舗閉鎖を20店舗(うちV C(ボランティアチェーン)への移行を4店舗)行った結果、当連結会計年度末における当社グループ店舗数は287店舗(直営217店舗、F C26店舗、V C44店舗)となりました。

この結果、当期の連結売上高は、前年同期に比べ1.0%増加の53,088百万円となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

飲食事業につきましては、既存店売上高は対前年比増加したものの、直営店舗数が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ1.6%減少の23,407百万円となりました。

卸売・ロジスティクス事業につきましては、卸売含む総合物流サービスによる外部売上高が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ3.6%増加の26,828百万円となりました。

不動産事業につきましては、売上高は前年同期に比べ横ばいの1,622百万円となりました。

F C・V C事業につきましては、F C・V C店舗の減少や営業権利用料更新等により、売上高は前年同期に比べ9.6%減少の822百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ22.2%増加の406百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は915百万円(前年同期比23.5%減少)、経常利益は914百万円(前年同期比23.6%減少)、親会社株主に帰属する当期純利益は394百万円(前年同期比66.4%減少)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は10,102百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,383百万円減少となりました。これは、現金及び預金が1,012百万円、売掛金及び契約資産が412百万円減少したこと等によるものであります。

また、当連結会計年度末における固定資産は17,880百万円となり、前連結会計年度末に比べ152百万円減少となりました。これは、差入保証金が181百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は9,783百万円となり、前連結会計年度末に比べ801百万円減少となりました。これは、未払消費税等が301百万円、未払金が212百万円、1年内返済予定の長期借入金が200百万円減少したこと等によるものであります。

また、当連結会計年度末における固定負債は6,808百万円となり、前連結会計年度末に比べ842百万円減少となりました。これは、長期借入金が688百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は11,392百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円増加となりました。これは、配当金の支払い293百万円に対し、親会社株主に帰属する当期純利益を394百万円計上したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,156百万円減少の4,818百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,725百万円の資金収入(前年同期は2,148百万円の資金収入)となりました。これは主に、減価償却費1,073百万円、税金等調整前当期純利益620百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,675百万円の資金支出(前年同期は295百万円の資金収入)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,605百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,227百万円の資金支出(前年同期は5,468百万円の資金支出)となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,550百万円に対し、長期借入金の返済による支出2,439百万円等によるものであります。

(参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期
自己資本比率	29.8%	28.6%	31.0%	38.2%	40.7%
時価ベースの自己資本比率	71.0%	71.8%	68.9%	84.7%	79.3%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	22.2%	5.3%	11.0%	24.4%	21.9%
インタレスト・カバレッジ・レシオ	42.7倍	9.4倍	15.9倍	18.4倍	13.4倍

- (注) 自己資本比率 : 自己資本／総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 営業キャッシュ・フロー／有利子負債
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー／利払い

- ※1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
 2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
 3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善等を背景に国内消費は底堅く推移することが期待されるものの、国際情勢や米国の通商政策を巡る不透明感、為替変動に加え、原材料・エネルギー価格の高止まり、人手不足や賃上げに伴う人件費、物流費等のコスト上昇が懸念されます。また、物価高に伴う節約志向や、2027年4月に予定される飲食料品に係る消費税率引下げによる外食控え等の消費行動の変化も想定され、引き続き厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような環境下において、当社グループは、「人類の健康と心の豊かさに奉仕する」という企業理念のもと、「日本の台所」の役割を果たしていくと共に企業価値の向上を目指し、各種施策に取り組んでまいります。

具体的に対処すべき課題として、飲食事業におきましては、引き続き各業態のブランディング強化に加え、新規出店や店舗状況に応じた強化業態等への転換・リニューアルを推進するとともに、WEB予約獲得の強化やSNSを活用した集客力向上に取り組んでまいります。卸売・ロジスティクス事業では、外部販売先の拡大と、外部飲食企業へのワンストップサービスの提供強化を推進してまいります。また、その他事業セグメント（不動産事業、F C・V C事業等）の収益力向上を図るほか、全社的なD X戦略として生成A Iの活用による業務生産性の向上、ならびに労働環境の適正化や各種研修の充実による人材確保・育成に取り組んでまいります。これらを通じ、中長期的な業績拡大も見据えた成長投資を実行する一方で、各種コスト最適化と省人化を徹底し、全社的な収益基盤の強化と持続的な企業価値の向上を図ってまいります。

以上の結果、2027年8月期の通期連結業績予想につきましては、売上高54,360百万円、営業利益1,050百万円、経常利益930百万円、親会社株主に帰属する当期純利益580百万円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業価値の向上並びに株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題に位置付けております。また、利益配分につきましては、事業拡大に向けて内部留保の充実に努めるとともに、株主の皆様に対しては、安定した配当を継続的にを行うことを基本方針としつつ、業績動向や財務健全性の状況も十分に考慮した上での適正な利益還元を行っていきたいと考えております。

当期末の配当金につきましては、足許の当社を取り巻く経営環境と当期業績を総合的に勘案した結果、前期末と同額の1株当たり8円とさせていただき、通期では前期と同額の年間14円となります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,395	4,382
売掛金及び契約資産	4,132	3,720
商品及び製品	1,026	1,165
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	99	103
未収入金	186	10
その他	660	730
貸倒引当金	△14	△11
流動資産合計	11,486	10,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,412	14,481
減価償却累計額	△9,630	△9,637
建物及び構築物（純額）	4,782	4,844
機械装置及び運搬具	1,694	1,691
減価償却累計額	△1,181	△1,160
機械装置及び運搬具（純額）	512	530
工具、器具及び備品	1,613	1,645
減価償却累計額	△1,326	△1,315
工具、器具及び備品（純額）	287	329
土地	3,738	3,901
リース資産	1,048	936
減価償却累計額	△914	△873
リース資産（純額）	134	63
建設仮勘定	9	32
有形固定資産合計	9,465	9,702
無形固定資産		
借地権	1,763	1,763
ソフトウェア	140	139
その他	119	119
無形固定資産合計	2,023	2,022
投資その他の資産		
投資有価証券	1,087	1,156
出資金	1	1
長期貸付金	324	298
差入保証金	2,974	2,792
敷金	1,511	1,338
繰延税金資産	530	452
その他	122	121
貸倒引当金	△8	△5
投資その他の資産合計	6,543	6,155
固定資産合計	18,033	17,880
繰延資産		
社債発行費	4	2
繰延資産合計	4	2
資産合計	29,523	27,984

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当連結会計年度 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,506	2,334
短期借入金	2,200	2,360
1年内返済予定の長期借入金	2,283	2,082
1年内償還予定の社債	90	90
リース債務	115	66
未払金	1,823	1,611
未払法人税等	145	153
未払消費税等	386	84
賞与引当金	366	342
株主優待引当金	291	314
店舗閉鎖損失引当金	3	7
資産除去債務	28	16
その他	345	318
流動負債合計	10,584	9,783
固定負債		
社債	135	45
長期借入金	3,902	3,213
リース債務	87	22
退職給付に係る負債	1,550	1,558
役員退職慰労引当金	238	273
受入保証金	869	857
資産除去債務	775	749
繰延税金負債	91	84
その他	1	3
固定負債合計	7,651	6,808
負債合計	18,236	16,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	7,657	7,657
利益剰余金	3,749	3,850
自己株式	△250	△250
株主資本合計	11,257	11,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	32
その他の包括利益累計額合計	29	32
非支配株主持分	0	2
純資産合計	11,286	11,392
負債純資産合計	29,523	27,984

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 8 月31日)	当連結会計年度 (自 2025年 9 月 1 日 至 2026年 8 月31日)
売上高	52,556	53,088
売上原価	32,216	33,048
売上総利益	20,340	20,039
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	59	58
運搬費	300	429
貸倒引当金繰入額	△19	0
役員報酬	231	240
給料及び手当	7,988	7,903
賞与	135	122
賞与引当金繰入額	246	223
退職給付費用	69	103
役員退職慰労引当金繰入額	24	40
法定福利費	1,112	1,069
福利厚生費	71	82
減価償却費	858	895
水道光熱費	1,193	1,075
租税公課	97	102
地代家賃	2,850	2,811
株主優待引当金繰入額	275	280
その他	3,647	3,686
販売費及び一般管理費合計	19,143	19,124
営業利益	1,196	915
営業外収益		
受取利息	9	16
受取配当金	3	5
貸倒引当金戻入額	4	3
受取損害賠償金	44	8
受取保険金	50	51
投資有価証券売却益	23	45
為替差益	3	9
その他	45	45
営業外収益合計	185	186
営業外費用		
支払利息	114	125
貸倒引当金繰入額	0	0
減価償却費	2	2
支払手数料	26	6
その他	41	51
営業外費用合計	185	187
経常利益	1,196	914

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
特別利益		
固定資産売却益	364	2
受取補償金	98	83
特別利益合計	463	86
特別損失		
固定資産売却損	3	15
固定資産除却損	193	125
減損損失	115	209
店舗関係整理損	9	23
店舗閉鎖損失引当金繰入額	3	7
特別損失合計	324	380
税金等調整前当期純利益	1,335	620
法人税、住民税及び事業税	143	154
法人税等調整額	18	69
法人税等合計	161	223
当期純利益	1,173	396
非支配株主に帰属する当期純利益	0	2
親会社株主に帰属する当期純利益	1,172	394

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
当期純利益	1,173	396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	3
その他の包括利益合計	4	3
包括利益	1,178	399
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,177	397
非支配株主に係る包括利益	0	2

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	7,657	2,870	△250	10,377
当期変動額					
剰余金の配当			△293		△293
親会社株主に帰属する当期純利益			1,172		1,172
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			0		0
当期変動額合計	－	－	879	△0	879
当期末残高	100	7,657	3,749	△250	11,257

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	24	24	－	10,402
当期変動額				
剰余金の配当				△293
親会社株主に帰属する当期純利益				1,172
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	4	4	0	5
当期変動額合計	4	4	0	884
当期末残高	29	29	0	11,286

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	7,657	3,749	△250	11,257
当期変動額					
剰余金の配当			△293		△293
親会社株主に帰属する当期純利益			394		394
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	100	—	100
当期末残高	100	7,657	3,850	△250	11,357

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	29	29	0	11,286
当期変動額				
剰余金の配当				△293
親会社株主に帰属する当期純利益				394
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3	3	2	5
当期変動額合計	3	3	2	105
当期末残高	32	32	2	11,392

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,335	620
減価償却費	1,051	1,073
減損損失	115	209
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△88	8
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	24	34
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	2	4
受取利息及び受取配当金	△13	△21
支払利息	114	125
投資有価証券売却損益(△は益)	△23	△45
固定資産除却損	193	125
固定資産売却損益(△は益)	△361	12
売上債権の増減額(△は増加)	△243	412
棚卸資産の増減額(△は増加)	△28	△143
仕入債務の増減額(△は減少)	△36	△171
未払消費税等の増減額(△は減少)	△57	△300
その他	417	48
小計	2,378	1,986
利息及び配当金の受取額	4	15
利息の支払額	△116	△129
法人税等の支払額	△121	△147
法人税等の還付額	3	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,148	1,725
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△849	△1,605
有形固定資産の売却による収入	1,302	89
無形固定資産の取得による支出	△21	△28
投資有価証券の取得による支出	△159	△218
投資有価証券の売却による収入	49	—
敷金及び保証金の差入による支出	△28	△47
敷金及び保証金の回収による収入	118	290
その他	△115	△157
投資活動によるキャッシュ・フロー	295	△1,675

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,070	160
長期借入れによる収入	—	1,550
長期借入金の返済による支出	△7,036	△2,439
社債の償還による支出	△90	△90
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△294	△292
リース債務の返済による支出	△118	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,468	△1,227
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	21
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,026	△1,156
現金及び現金同等物の期首残高	9,001	5,974
現金及び現金同等物の期末残高	5,974	4,818

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主として直営店による飲食店のチェーン展開を行っております。したがって、当社グループは、「飲食事業」を中心として、これを直接的・間接的に支援する「卸売・ロジスティクス事業」、「不動産事業」、「F C・V C事業」の4つに集約し報告セグメントとしております。

飲食事業は、手作りの和食料理をメインとした「庄や」「お魚総本家」や「満天酒場」「大庄水産」等の運営を行っております。

卸売・ロジスティクス事業は、直営店舗及びF C店舗・V C店舗並びに飲食店等の一般取引先への卸売と倉庫・運送を一体化した総合物流サービスの展開を行っております。

不動産事業は、自社ビルテナントの不動産の賃貸・管理及び賃借店舗物件の転貸等を行っております。

F C・V C事業は、F C加盟店及びV C加盟店への運営支援・指導等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上額 (注) 3
	飲食事業	卸売・ロジ スティクス 事業	不動産 事業	FC・VC 事業	計				
売上高									
一時点で移転される 財又はサービス	23,785	25,902	—	—	49,687	332	50,020	—	50,020
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	—	—	—	910	910	—	910	—	910
顧客との契約から生 じる収益	23,785	25,902	—	910	50,598	332	50,930	—	50,930
その他の収益 (注) 4	—	—	1,625	—	1,625	—	1,625	—	1,625
外部顧客への 売上高	23,785	25,902	1,625	910	52,224	332	52,556	—	52,556
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	9	8,574	194	1	8,780	301	9,081	△9,081	—
計	23,794	34,476	1,820	911	61,004	633	61,638	△9,081	52,556
セグメント利益	1,303	945	440	349	3,040	△1	3,038	△1,842	1,196
セグメント資産	8,378	6,845	5,576	554	21,355	138	21,494	8,029	29,523
その他の項目									
減価償却費	661	56	72	85	876	1	877	173	1,051
有形固定資産及び無 形固定資産の 増加額	626	13	41	56	737	0	738	120	858

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,842百万円には、セグメント間取引消去520百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,362百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額8,029百万円には、セグメント間消去△675百万円及び全社資産8,704百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る資産であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額120百万円は、報告セグメントに帰属しない親会社での設備投資額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上額 (注) 3
	飲食事業	卸売・ロジ スティクス 事業	不動産 事業	FC・VC 事業	計				
売上高									
一時点で移転される 財又はサービス	23,407	26,828	—	—	50,236	406	50,643	—	50,643
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	—	—	—	822	822	—	822	—	822
顧客との契約から生 じる収益	23,407	26,828	—	822	51,059	406	51,466	—	51,466
その他の収益 (注) 4	—	—	1,622	—	1,622	—	1,622	—	1,622
外部顧客への 売上高	23,407	26,828	1,622	822	52,681	406	53,088	—	53,088
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	9	8,720	188	1	8,919	309	9,229	△9,229	—
計	23,417	35,549	1,810	824	61,601	716	62,317	△9,229	53,088
セグメント利益	1,231	886	475	290	2,883	8	2,892	△1,977	915
セグメント資産	8,186	6,601	5,756	404	20,948	136	21,084	6,899	27,984
その他の項目									
減価償却費	667	60	56	88	872	1	873	200	1,073
有形固定資産及び無 形固定資産の 増加額	1,038	99	206	68	1,414	—	1,414	164	1,578

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,977百万円には、セグメント間取引消去531百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,509百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額6,899百万円には、セグメント間消去△1,021百万円及び全社資産7,920百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る資産であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額164百万円は、報告セグメントに帰属しない親会社での設備投資額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスごとの外部顧客への売上高は、報告セグメントと同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%以上を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスごとの外部顧客への売上高は、報告セグメントと同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%以上を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	飲食事業	卸売・ロジスティクス事業	不動産事業	FC・VC事業			
減損損失	79	—	17	19	—	—	115

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	飲食事業	卸売・ロジスティクス事業	不動産事業	FC・VC事業			
減損損失	172	—	1	35	—	—	209

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 8 月31日)		当連結会計年度 (自 2025年 9 月 1 日 至 2026年 8 月31日)	
1 株当たり純資産額	537円83銭	1 株当たり純資産額	542円76銭
1 株当たり 当期純利益	55円88銭	1 株当たり 当期純利益	18円78銭
なお、潜在株式調整後 1 株当たり 当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後 1 株当たり 当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
(注) 1 株当たり 当期純利益の算定上の基礎			

項目	前連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	当連結会計年度 (自 2025年9月1日 至 2026年8月31日)
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,172	394
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,172	394
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,985	20,985

(重要な後発事象)

該当事項はありません。